

令和 2 年 度

旭 市 水 道 事 業 会 計 予 算

令和２年度旭市水道事業会計予算

(総 則)

第１条 令和２年度旭市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第２条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水件数及び給水量等

区 分	予 定 量
給 水 件 数	21,060 件
年 間 給 水 量	6,202,987 m ³
1 日 平 均 給 水 量	16,994 m ³

(2) 主要な建設改良事業

配水管布設工事	事業費	74,492 千円
配水管布設替工事	事業費	13,288 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第 1 款 水 道 事 業 収 益	1, 6 6 6, 0 4 8 千円
第 1 項 営 業 収 益	1, 4 5 6, 8 4 3 千円
第 2 項 営 業 外 収 益	2 0 9, 2 0 5 千円

支 出	
第 1 款 水 道 事 業 費 用	1, 4 7 9, 1 6 2 千円
第 1 項 営 業 費 用	1, 4 2 6, 2 3 5 千円
第 2 項 営 業 外 費 用	3 1, 6 8 0 千円
第 3 項 特 別 損 失	1, 2 4 7 千円
第 4 項 予 備 費	2 0, 0 0 0 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額137, 239千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11, 738千円、減債積立金43, 932千円、過年度分損益勘定留保資金81, 569千円で補てんするものとする。)

収 入

第 1 款 資 本 的 収 入	9 8 , 1 1 8 千円
第 1 項 企 業 債	4 4 , 0 0 0 千円
第 2 項 出 資 金	1 2 , 2 6 0 千円
第 3 項 負 担 金	1 1 , 7 3 2 千円
第 4 項 給 水 申 込 納 付 金	3 0 , 1 2 6 千円

支 出

第 1 款 資 本 的 支 出	2 3 5 , 3 5 7 千円
第 1 項 建 設 改 良 費	1 7 1 , 4 2 4 千円
第 2 項 企 業 債 償 還 金	4 3 , 9 3 2 千円
第 3 項 その他資本的支出	1 千円
第 4 項 予 備 費	2 0 , 0 0 0 千円

（企業債）

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法
飯岡配水場高区圧力 タンク更新	千円 44,000	普通貸借 又は 証券発行	3.0%以内 （ただし、利率見直し方式で 借り入れる資金について、利 率の見直しを行った後におい ては、当該見直し後の利率）	借入先の融資条件による。た だし企業財政その他の都合 により繰上償還又は低利に 借り換えることができる。

（一時借入金）

第6条 一時借入金の限度額は、80,000千円と定める。

（予定支出の各項の経費の金額の流用）

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 第1項営業費用、第2項営業外費用、第3項特別損失との相互

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費）

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職 員 給 与 費 103,775千円

(2) 交 際 費 33千円

(他会計からの補助金)

第9条 高料金対策のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、79,530千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、5,102千円と定める。

令和2年 2 月 27 日 提出

旭 市 長 明 智 忠 直

令和 2 年 度

水道事業会計予算に関する説明書

令和２年度 旭市水道事業会計予算実施計画
収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
１ 水道事業収益			１，６６６，０４８	
	１ 営業収益		１，４５６，８４３	
		１ 給 水 収 益	１，４４１，５８９	水道料金
		２ 受 託 工 事 収 益	１	配水管の移設等工事受託による収益
		３ そ の 他 営 業 収 益	１５，２５３	消火栓維持管理負担金、手数料
	２ 営業外収益		２０９，２０５	
		１ 受取利息及び配当金	１	預金及び投資等による収益
		２ 他 会 計 補 助 金	８０，２８２	一般会計補助金
		３ 補 助 金	７０，６２１	千葉県市町村水道総合対策事業補助金
		４ 長期前受金戻入益	５８，２９１	減価償却に伴う長期前受金の戻入
		５ 雑 収 益	１０	その他雑収益

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業費用	1 営業費用		1, 4 7 9, 1 6 2	
			1, 4 2 6, 2 3 5	
		1 原水及び浄水費	8 2 5, 1 4 8	受水に要する費用
		2 配水及び給水費	2 3 2, 2 9 0	配水、給水設備等の維持管理に要する費用
		3 受託工事費	1	配水管の移設その他の受託工事に要する費用
		4 総 係 費	1 1 9, 4 2 4	業務全般に要する費用
		5 減 価 償 却 費	2 4 2, 3 4 8	固定資産減価償却費
		6 資 産 減 耗 費	7, 0 2 4	固定資産除却費
	2 営業外費用		3 1, 6 8 0	
		1 支払利息及び 企業債取扱諸費	1 0, 0 0 7	企業債利息
		2 消費税及び 地方消費税	2 1, 6 7 2	消費税及び地方消費税納付予定額
		3 雑 支 出	1	その他雑支出
	3 特別損失		1, 2 4 7	
		1 過年度損益修正損	1, 2 4 7	不納欠損等
	4 予 備 費		2 0, 0 0 0	
		1 予 備 費	2 0, 0 0 0	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			98,118	
	1 企 業 債		44,000	
		1 企 業 債	44,000	上水道事業債
	2 出 資 金		12,260	
		1 出 資 金	12,260	一般会計出資金
	3 負 担 金		11,732	
		1 負 担 金	11,732	消火栓設置負担金、配水管工事等負担金
	4 給水申込納付金		30,126	
		1 給 水 申 込 納 付 金	30,126	水道申込納付金

支 出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			235,357	
	1 建 設 改 良 費		171,424	
		1 拡 張 工 事 費	85,498	配水管布設工事費等
		2 改 良 工 事 費	28,204	配水管布設替工事費等
		3 固 定 資 産 取 得 費	57,722	圧力タンク更新等
	2 企 業 債 償 還 金		43,932	
		1 企 業 債 償 還 金	43,932	企業債償還元金
	3 その他資本的支出		1	
		1 その他資本的支出	1	給水申込納付金返還金
	4 予 備 費		20,000	
		1 予 備 費	20,000	

令和２年度旭市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書(間接法)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：千円 税抜)

I 業務活動によるキャッシュフロー

当年度純利益	174,686
減価償却費	242,348
資産減耗費	7,024
貸倒引当金の増減額	△ 158
賞与引当金の増減額	376
長期前受金戻入額	△ 58,291
受取利息	△ 1
支払利息	10,007
未収金の増減額	△ 1,899
未払金の増減額	△ 145
棚卸資産の増減額	△ 502
小 計	373,445
利息の受取額	1
利息の支払額	△ 10,007
業務活動によるキャッシュフロー	363,439

II 投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出	△ 176,035
工事負担金による収入	10,820
給水申込納付金	27,386
投資活動によるキャッシュフロー	△ 137,829

Ⅲ 財務活動によるキャッシュフロー		Ⅳ 資金の増加額	237,938
建設改良費等の財源に充てる ための企業債の収入	44,000		
建設改良費等の財源に充てる ための企業債の償還による支出	△ 43,932	Ⅴ 資金の期首残高	<u>2,654,567</u>
出資金による収入	12,260		
財務活動によるキャッシュフロー	<u>12,328</u>	Ⅵ 資金の期末残高	<u><u>2,892,505</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(単位:千円)

区 分		職 員 数 (人)		給 与 費				法定福利費	合 計
		特別職	一般職	報 酬	給 料	職員手当等	計		
本 年 度	損益勘定支弁職員	10	12	180	48,466	33,087	81,733	22,042	103,775
	資本勘定支弁職員								
	合 計	10	12	180	48,466	33,078	81,733	22,042	103,775
前 年 度	損益勘定支弁職員	10	12	480	49,339	30,360	80,179	21,234	101,413
	資本勘定支弁職員								
	合 計	10	12	480	49,339	30,360	80,179	21,234	101,413
比 較	損益勘定支弁職員			△ 300	△ 873	2,727	1,554	808	2,362
	資本勘定支弁職員								
	合 計			△ 300	△ 873	2,727	1,554	808	2,362

(単位:千円)

職 員 手 当 等 の 内 訳	区 分	扶養	住居	通勤	特殊 勤務	時間外 勤務	宿日直	管理職 特勤	休日 勤務	管理職	期末	勤勉	児童	夜間 勤務
	本 年 度	3,730	1,020	1,030		3,300			150	1,610	12,059	8,488	1,700	
	前 年 度	3,080	660	600		3,300			150	1,610	11,620	8,380	960	
	比 較	650	360	430							439	108	740	

2 給料及び職員手当等の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		企 業 職
令和2年1月1日現在	平均給料月額(円)	321,392
	平均給与月額(円)	380,547
	平均年齢(歳)	42.4
平成31年1月1日現在	平均給料月額(円)	328,000
	平均給与月額(円)	370,616
	平均年齢(歳)	44.4

(2) 初 任 給

区 分	企 業 職	一 般 会 計 の 制 度
		行 政 職
高 校 卒	154, 900円	154, 900円
大 学 卒	188, 700円	188, 700円

(3) 級別職員数

区 分	級	企 業 職	
		職 員 数 (人)	構 成 比 (%)
令 和 2 年 1 月 1 日 現 在	1 級		
	2 級	2	16.67
	3 級	4	33.33
	4 級	2	16.67
	5 級	2	16.67
	6 級	1	8.33
	7 級	1	8.33
	計	12	100.00
平 成 31 年 1 月 1 日 現 在	1 級		
	2 級	2	16.67
	3 級	4	33.33
	4 級	2	16.67
	5 級	2	16.67
	6 級	1	8.33
	7 級	1	8.33
	計	12	100.00

(級別の基準となる職務)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
企 業 職	主事	主事	副主査 主任主事	主査	副主幹	副課長	課長

(4) 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計(月分)	職制上の段階、職務 の級等による加算措置	備 考
	6月(月分)	12月(月分)			
本 年 度	2.250	2.250	4.50	有	
前 年 度	2.225	2.225	4.45	有	
一 般 会 計 の 制 度	2.250	2.250	4.50	有	

(5) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者	25年勤続の者	35年勤続の者	最高限度	その他の加算措置等	備 考
支 給 率 等	24.586875月分	33.27075月分	47.709月分	47.709月分	定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)	
一 般 会 計 の 制 度 (支 給 率 等)	24.586875月分	33.27075月分	47.709月分	47.709月分	定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)	

(6) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	
住 居 手 当	同	
通 勤 手 当	同	

令和 2 年度 旭 市 水 道 事 業 予 定 貸 借 対 照 表

(令 和 3 年 3 月 3 1 日)

	資	産	の	部	
	千円	千円	千円	千円	
1 固 定 資 産					
(1) 有 形 固 定 資 産					
イ 土 地		86,729			
ロ 建 物	158,141				
減価償却累計額	<u>△ 82,350</u>	75,791			
ハ 構 築 物	12,518,302				
減価償却累計額	<u>△ 8,292,242</u>	4,226,060			
ニ 機 械 及 び 装 置	928,029				
減価償却累計額	<u>△ 671,780</u>	256,249			
ホ 車 輜 運 搬 具	12,064				
減価償却累計額	<u>△ 10,952</u>	1,112			
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	7,291				
減価償却累計額	<u>△ 4,369</u>	2,922			
有形固定資産合計			4,648,863		
(2) 無 形 固 定 資 産					
イ 施 設 利 用 権		13			
ロ その他無形固定資産		<u>276</u>			
無形固定資産合計			<u>289</u>		
固 定 資 産 合 計				4,649,152	

2	流	動	資	産			
(1)	現	金	預	金		2,892,505	
(2)	未		収	金	230,690		
	貸	倒	引	当	<u>△ 689</u>	230,001	
(3)	貯		蔵	品		<u>13,984</u>	
	流	動	資	産	合		<u>3,136,490</u>
	資	産	合	計			<u>7,785,642</u>

負	債	の	部	
千円	千円	千円	千円	

3	固	定	負	債			
(1)	企	業	債				
	イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債				576,726	
(2)	引	当	金				
	イ	修繕引当金			<u>52,574</u>		
	固	定	負	債	合		629,300
4	流	動	負	債			
(1)	企	業	債				
	イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債				45,617	
(2)	未	払	金			90,907	
(3)	引	当	金				
	イ	賞与引当金				7,933	
(4)	そ	の	他	流	動	負	債
	流	動	負	債	合	<u>6</u>	144,463

5	繰延収益				
(1)	長期前受金			4,081,676	
(2)	収益化累計額			<u>△ 2,043,157</u>	
	繰延収益合計				<u>2,038,519</u>
	負債合計				<u><u>2,812,282</u></u>
		資	本	の	部
		千円		千円	千円
6	資本金				3,801,474
7	剰余金				
(1)	資本金剰余金				
	イ 保険差益			123	
	ロ その他資本剰余金			<u>790</u>	
	資本剰余金合計				913
(2)	利益剰余金				
	イ 建設改良積立金			952,355	
	ロ 当年度未処分利益剰余金			<u>218,618</u>	
	利益剰余金合計			<u>1,170,973</u>	
	剰余金合計				<u>1,171,886</u>
	資本合計				<u>4,973,360</u>
	負債資本合計				<u><u>7,785,642</u></u>

令和元年度 旭市水道事業予定損益計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

	千円	千円	千円
1 営業収益			
(1) 給水収益	1,269,627		
(2) その他営業収益	<u>12,650</u>	1,282,277	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	749,236		
(2) 配水及び給水費	152,550		
(3) 総係費	131,382		
(4) 減価償却費	243,174		
(5) 資産減耗費	<u>4,156</u>	<u>1,280,498</u>	
営業利益			1,779
3 営業外収益			
(1) 他会計補助金	81,024		
(2) 補助金	75,068		
(3) 長期前受金戻入益	59,320		
(4) 雑収益	<u>1,009</u>	216,421	

4	営 業 外 費 用			
(1)	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	11,135		
(2)	雑 支 出	0	11,135	205,286
	経 常 利 益			207,065
5	予 備 費			
(1)	予 備 費	1,678	1,678	1,678
	当 年 度 純 利 益			205,387
	前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金			0
	その他未処理利益剰余金変動額			39,600
	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金			244,987

令和元年度 旭市水道事業予定貸借対照表

(令和2年3月31日)

	資	産	の	部	
	千円	千円	千円	千円	
1 固定資産					
(1) 有形固定資産					
イ 土地		86,729			
ロ 建物	158,141				
減価償却累計額	<u>△ 79,824</u>	78,317			
ハ 構築物	12,416,012				
減価償却累計額	<u>△ 8,085,585</u>	4,330,427			
ニ 機械及び装置	900,337				
減価償却累計額	<u>△ 675,183</u>	225,154			
ホ 車輛運搬具	12,064				
減価償却累計額	<u>△ 10,721</u>	1,343			
ヘ 工具器具及び備品	4,599				
減価償却累計額	<u>△ 4,369</u>	230			
有形固定資産合計			4,722,200		
(2) 無形固定資産					
イ 施設利用権		13			
ロ その他無形固定資産		<u>276</u>			
無形固定資産合計			<u>289</u>		
固定資産合計					4,722,489

2	流	動	資	産				
(1)	現	金	・	預	金		2,654,567	
(2)	未		収		金	228,791		
	貸	倒	引	当	金	<u>△ 847</u>	227,944	
(3)	貯		蔵		品		<u>13,482</u>	
	流	動	資	産	合	計		<u>2,895,993</u>
	資	産			合	計		<u>7,618,482</u>
負債の部								
千円 千円 千円 千円								
3	固	定	負	債				
(1)	企		業		債			
	イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債					578,343	
(2)	引		当		金			
	イ	修	繕	引	当	金	<u>52,574</u>	
	固	定	負	債	合	計		630,917
4	流	動	負	債				
(1)	企		業		債			
	イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債					43,932	
(2)	未		払		金		91,052	
(3)	引		当		金			
	イ	賞	与	引	当	金	7,557	
(4)	そ	の	他	流	動	負	<u>債</u>	
	流	動	負	債	合	計		142,547

5	繰延収益				
(1)	長期前受金			4,043,470	
(2)	収益化累計額			<u>△ 1,984,866</u>	
	繰延収益合計				<u>2,058,604</u>
	負債合計				<u>2,832,068</u>
		資	本	の	部
		千円		千円	千円
6	資本金				3,749,614
7	剰余金				
(1)	資本金剰余金				
	イ 保険差益			123	
	ロ その他資本剰余金			<u>790</u>	
	資本剰余金合計				913
(2)	利益剰余金				
	イ 建設改良積立金			790,900	
	ロ 当年度未処分利益剰余金			<u>244,987</u>	
	利益剰余金合計				<u>1,035,887</u>
	剰余金合計				<u>1,036,800</u>
	資本合計				<u>4,786,414</u>
	負債資本合計				<u>7,618,482</u>

注 記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

ア たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産 定額法（ただし、水道事業の取替資産については取替法による。）

イ 無形固定資産 定額法

(3) 引当金の計上基準

ア 退職給付引当金

本市は、退職手当組合に加入しており、水道事業会計は当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業会計が負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

イ 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込額のうち当年度の負担に属する額を計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(4) その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

ア 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 リース契約により使用する固定資産に関する注記

(1) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

所有権移転ファイナンス・リース取引で重要性の乏しいものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

3 その他の注記

(1) 引当金の取り崩し

ア 賞与引当金

当年度において、6月分期末・勤勉手当及び法定福利費を支給するため、賞与引当金7,557千円を取り崩す。

イ 貸倒引当金

当年度において、債権の不納欠損に充当するため、貸倒引当金847千円を取り崩す。

ウ 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。